

令和元年度第4回知的障害者支援部会記録

日時) 令和元年 11月19日(火) 10:00-12:00 場所) 香川県手をつなぐ育成会

参加者) 香川県手をつなぐ育成会・香川中部養護学校・地域生活支援センターこだま
相談支援センターりゅううん・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

9名

* 育成会：橋事務局長が初参加

資料) ・「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」抜粋

・「お金の使い方などについて」 ・8/2 渡部伸氏講演会アンケート

内容)

①8/2 渡部伸氏講演会について及び「親なきあと」について

・アンケート振り返り

お金、経済的なことに関してもっと知りたい(信託、贈与…)し、育成会でも少人数の勉強会はしたことがある。先生の「繋がっておけば何とかかなる」というメッセージが良かった、繋がりが大事だと感じた。 など

・「親なきあと」についてその後

来年度、部会で、遺言や相続、信託などを相談できる機関(司法書士等)との合同研修会を企画してはどうか。そこに相談支援とサビ管等サービス提供者にも参加してもらい、さらに個別の相談会や「親なきあと」について事例検討などにつなげる。⇒ケースを一緒に動いてくれた司法書士などに相談を持ち掛けながら準備へ。

②地域移行

・訓練&入所利用後、地域移行するケースの該当が現在ない。養護学校卒業後、GH利用に繋がっている。

・入所している方本人が「施設を出たい」と言われたことを伝えると、その方の保護者がそれを施設を出なくてはいけなくなるととても心配されたことがあった。

・知的障害者の地域移行は、施設が生活の場であり、施設職員と相談支援の間の「地域で生活できる」感覚も違い、親も施設を出る=親元で引き取ると受け取り、なかなか切り口が見えない。

・広く「意思決定支援に関する課題」ということもできる。施設にも参加してもらえる切り口とは。

・圏域相談支援部会で相談支援専門員に投げかけてみる(入所している知的障害者を担当しているかどうか・担当している方に「施設を出たい」と言っている方がいるか・担当相談支援専門員や施設職員が地域で暮らせると考える方がいるか・逆に在宅生活の方で施設入所支援が必要と思える方がいるか等)。

③性、金銭管理

・「意思」と「意志」の違いを確認。

・金銭管理に関すること-それぞれの今の生活やこれまでの経験でお金の使い方は違い、必要な支援も個別に違う。例えば「夜お酒を呑みに行く」行為をポジティブに捉えるかネガティブに捉えるかも個別に違うし支援者によっても違うこともあるかもしれない。日常生活自立支援事業を利用する方も多いが、利用の難しさを感じるケースもある。⇒まずは金銭管理支援を専門とする方の話をうかがってみよう。

・性に関することは保留。

④その他

来年度、行政ご担当の方にもご参加をそうだんしてみる。

★次回 令和2年2月13日(木) 10:00 育成会にて